



力新 夕(の 千い 映画日本 の

鎌倉市川喜多映画記念館

2019.3.22/23/24

みつこと宇宙こぶ：中学生の町田光子は最近〈こぶ〉のことが気になって仕方がない。〈こぶ〉の中身がわかれば他のこともわかるような気がする彼女は、通学路や入浴中、眠れない夜など、〈こぶ〉について想像をふくらませていく。監督・脚本：竹内里紗 脚本協力：峰尾賢人 撮影：松島翔平 出演：小松未来、金田悠希、島野颯太、宮野叶愛、篠崎夕夏、根矢涼香、坂井昌三、永山由里恵

第11回田辺・弁慶映画祭
女優賞

2017年/DCP/40分

みつこと宇宙こぶ

感光以前：映画学校が取り壊される前日の夜。元生徒の武田と相川は、道具を取りに学校へと忍び込む。誰もいない校舎と建てられたままのセット。そこはかつての面影を残したまま、時間が停止しているかのようだった。監督：竹内里紗 脚本：峰尾賢人 撮影：松島翔平 出演：大村沙亜子、金井浩人、堀春菜、小川ゲン



©東京藝術大学大学院映像研究科

感光以前

2015年/Blu-ray(16mm撮影)/15分

3.22 Friday 10:30~12:20 小さな声で囁いて
13:00~13:55 みつこと宇宙こぶ+感光以前
14:25~16:03 僕の帰る場所+After Talk

3.23 Saturday 10:30~12:20 小さな声で囁いて
13:00~14:38 僕の帰る場所
15:10~16:05 みつこと宇宙こぶ+感光以前+After Talk

幼い兄弟を抱えた母親は、入国管理局に身柄を拘束された夫に代わり、必死に働きながら東京で暮らしていた。在日ミャンマー人家族が直面する困難や(故郷/異郷)に対する家族それぞれの想いをつぶさに見つめ、私たちの社会の中にある身近な現実として彼らの姿をとらえている。

第30回東京国際映画祭
国際交流基金アジアセンター特別賞

第30回東京国際映画祭
「アジアの未来」部門作品賞

第11回オランダ・シネマジア映画祭
コンペティション部門最優秀俳優賞



©E.x.N.K.K.

2017年/DCP/98分

僕の帰る場所

監督・脚本・編集：藤元明緒
撮影：岸建太郎
出演：カウン・ミヤツ・トゥ、ケイン・ミヤツ・トゥ、アイセ、テツ・ミヤツ・ナイン、來河侑希、黒宮ニイナ、津田寛治

付き合って5年が経ち、結婚を考え始めた遼に対し、乗り気じゃない沙良。互いの溝を埋めようとした3泊4日の旅行でも心はすれ違えばかり。漠然とした将来への不安から未来像を描けないふたり。そんな男女の愛鬱と(熱海)というロケーションが見事に響き合う。



2018年/DCP/110分

小さな声で囁いて

第40回びあフィルムフェスティバル 正式出品
第29回マルセイユ国際映画祭 初長編部門 正式出品

監督・脚本：山本英 脚本：山崎陽平 撮影：李子瑤
出演：大場みなみ、飯田 芳、山崎陽平、中野目理恵、小倉一郎、レイ・アルフォンソ正田、熱海釜山レイ

3.24 Sunday 10:30~12:08 僕の帰る場所
13:00~13:55 みつこと宇宙こぶ+感光以前
14:20~16:10 小さな声で囁いて+After Talk

※どの回のチケットでもAfter Talkにご参加いただけます。※After Talkには各作品の関係者が登壇予定です。

本特集では毎年、新進気鋭の若き映像作家の作品を紹介しています。今回のテーマは《リトル・ヴォイス》です。体験した出来事をあらわす言葉がなかなか見つからない——私たちの日々の暮らしの中には、そうした戸惑いやわだかまりのカケラがいくつも転がっています。はっきりとした声にならないイルカや鳥たちのシグナルに、どうしたら気づくことができるのでしょうか。『小さな声で囁いて』は、将来像をうまく描けないカップルの3泊4日の熱海旅行、『僕の帰る場所』は、在日ミャンマー人の家族がお父さんを単身日本に残しミャンマーへと生活の場を移す物語、『みつこと宇宙こぶ』は、想像力のふくらみが止まらない一人の女子中学生の日常と心の変化を描いています。それぞれのストーリーの中で、今にも消え入りそうなものは何なのか。人との関係なのか、アイデンティティや国籍なのか、堅持し続けた己の信条か、あるいは妄想の宇宙か。それぞれが迎える大きな変化、その一つひとつの小さな兆しにそっと耳を傾けてみましょう。

Design: SOUMA Takatori (Rafers)

〒二四八〇〇〇五 神奈川県鎌倉市雪ノ下二二二二二
電話：〇四六七一三三二五〇〇 <http://www.kamakura-kawakita.org>
主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

